

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長 大 西 克 弘



クラブ奉仕委員長の大西です。私のロータリークラブへの入会は 2 0 1 5 年 1 月 9 日でした。6 年半前のことです。

当時の篠原聡一会長と井原伸幹事が私のところに入会の勧誘にお見えになりました。和やかな中にも入ると言うまで帰らない。といったオーラを出されていました。当時の仕事の状況では毎週の例会出席は無理だと思い断ろうとしましたが、結局入会となりました。入会当時私は 4 7 歳になる直前でしたが、その当時 4 0 代の会員は今村会長、佐藤前会長をはじめ 5 名で、平均年齢は 6 3 歳ぐらいでした。大先輩も大勢いらっしゃいました。現在は 4 0 代が 9 名、3 0 代が 3 名、平均年齢は 5 6 歳となっているようで、若い方が増えたなと思います。入会当時の会員数は 3 6 名だったのですが、当時からいらっしゃる先輩は現在 1 5 名となり、いつのまにか入会順だけは中堅となってしまいました。とは言いましても、ロータリーではまだまだ若輩で勉強不足でもありますので非常におこがましいとは思いますが、私なりにクラブ奉仕についてお話しさせていただきます。

クラブ奉仕とはロータリーの 5 大奉仕部門のうちの第 1 部門です。5 大奉仕部門とはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の 5 部門となります。この中で社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕は感覚的に内容の分かりやすい部門ではないかと思います。当クラブでも具体的な活動が見える部門ではないかと思います。しかし、職業奉仕、クラブ奉仕については今一つ内容が理解しにくい部門ではないかと思います。特にロータリーならではの職業奉仕については私には最初は全く意味がわかりませんでした。ある先輩に仕事をしていること自体が職業奉仕になっていると言われましたが、そんなに深く考えることもありませんでした。職

業奉仕委員長を担当したことで少し理解することができましたが、基本的には「四つのテスト」で表わされる職業に対する倫理観を育てるもので、ロータリークラブが世界的に認められるようになった理念がもとになっているものです。職業奉仕の受益者はその職業を行う自分となるため、他の部門の奉仕とは意味合いがやや異なっています。それでは、クラブ奉仕とは、奉仕活動の受益者がクラブであると考ええると、会員みなさんがクラブに対して奉

仕をすることであり、具体的には、例会や行事への出席にはじまり、卓話を行うこと、各委員会の活動を行うこと、理事や役員となってクラブの運営に携わるといったことがクラブ奉仕ということとなります。入会当初とにかく例会に出席しなさいと言われてましたが、それがクラブ奉仕への入り口と言うことになると思います。例会の中でいろいろな人の話や考え方を聞き、また、卓話などを通じてよりロータリーを理解すること、さらに様々な行事に参加することがクラブ奉仕になっていると考えています。クラブ奉仕が基となってクラブを活性化し、他の奉仕活動を実践する。それらの奉仕活動の実践がクラブをさらに活性化させる。それがまたクラブ奉仕に繋がる。クラブ奉仕がすべての活動の基礎になっていると言えます。会員の皆様が伊予三島ロータリークラブの会員として行うすべてのことがクラブ奉仕であると言えるのではないのでしょうか。

『例会ではだらだらと中途半端な話になってしまい申し訳ありませんでした。』

第 3 2 5 6 回 例 会 記 録 令和 3 年 7 月 16 日

開会 今村定生 会長

ニコニコ紹介
本藤賢二君～

出席報告
出席会員（3 5 名中） 3 4 名
出席免除 1 名
出席率 1 0 0 %
第 3 2 5 4 回修正出席率 1 0 0 %

今村会長、お仕事ありがとうございました。会長あいさつで、メンバー同士で仕事をまわしていただけたらと言われていたのを実践していただき誠にありがとうございます。

会長の時間

桂 高司出席委員長～
本日の例会は全員出席で出席率 1 0 0 % です。ありがとうございました！

幹事報告

例会行事
クラブ奉仕委員会
大西克弘 委員長

8月6日プログラム予定

S A A の時間